



進路だより

卒業号
令和5年3月10日
連携・支援グループ
進路支援チーム

ご卒業おめでとうございます

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4月から始まる社会人生活に期待と不安があることと思います。新たな出会いや、社会や地域とのつながりを大切にして過ごしていきましょう。たくさんの人が皆さんを支え、応援してくれます。素敵な社会人になってください。

在校生の皆さんも、学校を卒業して社会に飛び立つ時がやってきます。少しずつ将来をイメージしながら、できることを増やせるよう日々生活していきましょう。

卒業しても、学校とのつながりがなくなるわけではありません。困ったときにはご相談ください。あわせて、地域の相談機関として以下の機関が利用できます。是非お問い合わせください。

<p>基幹相談支援センター (横浜)</p> <p>障害者相談サポートセンター (横須賀)</p>	<p>横浜市各区に、<u>障害のある方やそのご家族のための総合相談支援機関</u>として「基幹相談支援センター」が設置されています。必要な関係機関や地域と連携をとりながら、相談に応じてくれます。横須賀市では「障害者相談サポートセンター」がその役割を担います。 (例：生活上の悩み、将来への不安、家族の悩み…等)</p>
<p>計画相談事業所 [進路の手引き P. 22]</p>	<p><u>福祉サービスの利用についての相談や調整</u>、利用中のサービスが適切かどうかを見守り、「サービス等利用計画」を作成してくれます。今はまだ事業所数に限りがありますが、今後はより身近な存在になっていきます。 (例：福祉サービスの紹介、利用する事業所探し・連絡…等)</p>
<p>就労支援センター (横浜)</p> <p>就労援助センター (横須賀)</p>	<p><u>企業就労した方の職場への定着をサポートしてくれる場所</u>です。悩みやトラブル解決のための相談にのってくれます。ご本人も、そのご家族も相談できます。 (例：残業が多く疲労困憊だ、職場の人間関係が辛い、欠勤が増えた…等)</p>
<p>区や市役所の ケースワーカー</p>	<p>卒業後は<u>ケースワーカーが1番身近な相談窓口</u>です。必要な関係機関と連携をとりながら、相談に応じてくれます。居住地区によって担当のケースワーカーが決まっています。新年度で担当が替わることもあるので、ご確認ください。 (例：生活上の悩み、家族の悩み、通所先での困り事、福祉制度やサービスのこと…等)</p>

卒業後、社会人になってからの人生の方が長いです。時々、ご本人の20歳の姿、30歳の姿、40歳の姿…、その時のご家族の姿もあわせて想像してみてください。ご本人がたくさんの人に支えられ、安心できる場所でいきいきと生活し、より充実した人生が送れるよう、今できることを考えていきましょう。

今年度も感染症による影響で、不安で不便な中、皆様には様々なご理解とご協力をいただきました。どうもありがとうございました。裏面に今年度の進路状況について載せてあります。ご覧ください。



令和4年度卒業生進路先について

福祉	生活介護	13名
	就労継続支援B型	15名
	地域活動支援センター	1名
	自立訓練（生活訓練）	1名
	就労移行支援	5名
就労	企業	5名
	特例子会社	5名
その他	入所施設	1名

今年度は実習期間の延期や短縮等、感染症拡大の影響を受ける場面もありましたが、各事業所や企業のご協力もあり、概ね例年通りの実習を実施することができました。在住区の他に、近隣区の事業所で実習をすることが多い傾向となりました。